

令和5年度

# 学生によるオレンジリボン運動

## 愛知県立大学 実施報告書



実施主体 愛知県立大学村田ゼミ

実施内容 オレンジリボン運動の活動の輪を地域へ！

### ①事前に取り組んだ内容

- ① 在学生を対象とした学習会の準備学習として、虐待への「気づき」の大切さの理解につながるよう実際の虐待事件を比較検討を行った。
- ② 「子ども虐待の認識に関するアンケート調査」を実施するにあたり、NPO 法人児童虐待防止全国ネットワークによる「オレンジリボン認識度調査 2020」の調査項目ならびに調査結果の検討を行った。
- ③ 運動に対する理解を深めることを目的に、オレンジリボン運動事務局を訪問し、理事長ならびにスタッフからオレンジリボン運動の経緯や活動の現状を伺った。
- ④ 大学内図書館での関連図書を紹介による啓発コーナーの設置に向けて、子ども虐待に関する書籍を精読した。
- ⑤ 他大学との交流の準備として、アンケート調査の分析を行った。

### ②実施期間に取り組んだ具体的内容

- ① 在学生向け学習会の実施
- ② 大学企画ミニオープンキャンパスを活用した高校生向け学習会の実施
- ③ オリジナルポスターの作成・掲示・配布
- ④ オリジナルグッズの作成・配布
- ⑤ 「未来の子どもたちへのメッセージ」の募集・展示
- ⑥ 高校生へオレンジリボン運動および活動内容の紹介
- ⑦ 他大学ゼミへの活動内容の紹介を通じた交流
- ⑧ 学内展示コーナーの設置
- ⑨ 学内図書館での子ども虐待防止啓発コーナーの設置
- ⑩ 大学祭でのブースの設置（これまでの活動内容の展示、来場した子どもたちを対象としたぬりえ、折り紙、お菓子釣りコーナーの設置、子ども虐待に関するイメージ調査の実施）
- ⑪ WEBによる「子ども虐待認識度調査」の実施

### ③オレンジリボン運動を終えて…

＜啓発ポスターの作成・掲示＞

「周りの人みんなで子育てを支える社会を目指す」をコンセプトに、地域住民向け、子育て世帯向けのオリジナルポスターを作成。手作り感を大切に、温かい雰囲気になるよう工夫した。また、認識度調査やSNSにアクセスするためのQRコードも掲載し



た。作成したポスターは、学内および市内公共施設や県内の高校など計 29 か所に掲示していただくことができた。

### <大学祭>

これまでの活動紹介と子ども虐待とオレンジリボン運動を知るための資料および「未来の子どもたちへのメッセージ」の掲示、「189」情報を記載したポケットティッシュの配布、オレンジリボンをイメージしてもらうことを意図した子ども向けゲームコーナーの設置といった複数の企画を通して、大学祭に来場した親子に交流の時間を持ってもらうと同時に、来場者に向けて子ども虐待防止の啓発を行うことができた。

### <認識度調査>

学内での学習会や大学祭、SNS を通して子ども虐待ならびにオレンジリボン運動に関する認識度調査を行い、173 件の回答を得ることができた。結果から、認識度には学内外で大きな差があることを明らかにすることができた。このことから、対象に応じて発信の方法・内容を変えていく必要があるということがわかった。

### <学生によるオレンジリボン運動のネットワーク形成>

#### ① 他大学ゼミと交流

自分たちの活動内容の紹介と活動の一部（認識度調査と学内学習会）を実際に体験してもらい、その後の取り組みのきっかけにしてもらった。

#### ② 高校生への広報・啓発

出身高校のひとつにポスター掲示と「未来の子どもたちへのメッセージ」作成を依頼するとともに、活動内容紹介を行った。

この2つのことを通じて、「自分たちもやってみよう」という意識の芽生えに繋げることができ、その結果、オレンジリボン運動の参加者を増やし、ネットワーク形成に貢献することができた。

